

早稲田大学 商学部 数学 解答例

① (1)  $\frac{-1+\sqrt{13}}{2}$

(2)  $(a, b, n) = (17, 2, 6)$

(3)  $P(x) = 3x$

(4)  $m = 4$

② あり正の整数  $l$  が存在して

(1)  $\text{Arg}\left(\frac{i}{n}\right) = 0$  を満たすとは、

$i, 2i, 2^2i, 2^3i, \dots$  の中  $2^n$  などで割り切れるものがある

つまり  $\frac{i}{n} = \frac{l}{2^m}$

よって整数  $m, l$  が存在。

$(l=1, 2, \dots, 2^m-1)$

$\frac{1}{12}, \frac{2}{12}, \frac{3}{12}, \frac{4}{12}, \frac{5}{12}, \frac{6}{12}, \frac{7}{12}, \frac{8}{12},$   
 $\quad \quad \quad \parallel \quad \quad \quad \parallel$   
 $\quad \quad \quad \frac{1}{2^2} \quad \quad \quad \frac{1}{2^1}$

$\frac{9}{12}, \frac{10}{12}, \frac{11}{12},$   
 $\parallel$   
 $\frac{3}{2^2}$

$S_{12} = \left\{ \frac{3}{12}, \frac{6}{12}, \frac{9}{12} \right\}$

(2)  $2^{10} < 2018 < 2^{11}$  より

④  $\frac{1}{1024}, \frac{2}{1024}, \frac{3}{1024}, \dots, \frac{1023}{1024}$

の 1023 個は全て  $S_{1024}$  の要素

$S_1 \sim S_{1023}$  の要素は  $\text{Arg}$  ④ の中に含まれる。

$1025 \leq n \leq 2018$  のとき:

④ 以外で  $\frac{i}{n} = \frac{l}{2^m}$  の形になるものは含まれない。

よって 1023 個

$$\textcircled{3} \quad a_n \equiv \frac{a_{n+1} + a_{n+2}}{2} \pmod{9}$$

(1)  $a_1 \equiv 1, a_2 \equiv 2$  を考える

$$a_{n+2} \equiv 2a_n - a_{n+1} \pmod{9}$$

(以下 mod 9)

$$a_3 \equiv 2a_1 - a_2 \equiv 0$$

( $A_3 = P_9$  である)

$$a_4 \equiv 2a_2 - a_3 \equiv 4$$

( $A_4 = P_4$  である)

$$a_5 \equiv 2a_3 - a_4 \equiv -4 \equiv 5$$

$$a_6 \equiv 2a_4 - a_5 \equiv 3$$

$$a_7 \equiv 2a_5 - a_6 \equiv 7$$

$$a_8 \equiv 2a_6 - a_7 \equiv -1 \equiv 8$$

$$a_9 \equiv 2a_7 - a_8 \equiv 6$$

$$a_{10} \equiv 2a_8 - a_9 \equiv 10 \equiv 1$$

$$a_{11} \equiv 2a_9 - a_{10} \equiv 2$$

以後 1, 2, 0, 4, 5, 3, 7, 8, 6

のくり返し。

$$A_{15} \equiv P_3 \quad \underline{\underline{k=3}}$$

$$(2) \quad a_{n+2} \equiv 2a_n - a_{n+1}$$

(1) の例は,  $a_1$  と  $a_2$  が 1 の差が  
あるとすると  $\textcircled{A}$  のようになる

$$a_1 \equiv 3, a_2 \equiv 4 \text{ である}$$

同様に  $P_1 \sim P_9$  のすべての点  
を経験できる。

$a_1 \equiv 1, a_2 \equiv 3$  のときは差が 2  
である。  $\textcircled{B}$  のようになる

$$a_3 \equiv 8, a_4 \equiv 7, \dots$$

差が 1 になる。この後 (1) の同様に

$P_1 \sim P_9$  のすべての点を経験  
できる。

$\textcircled{C}$  のようになる  
 $a_1 \equiv 1, a_2 \equiv 4$  のときは差が 3  
である。  $a_3 \equiv 7, a_4 \equiv 1,$

$a_5 \equiv 4$  以後 1, 4, 7 のくり

返し

$\textcircled{D}$  のようになる  
 $a_1 \equiv 1, a_2 \equiv 5$  のときは差が 4

である。  $a_3 \equiv 6$ , 差が 1 になり

$P_1 \sim P_9$  のすべての点を経験できる。

$\textcircled{E}$  のようになるには、

$\{2, 5, 8\}, \{3, 6, 9\}$  から異なる 2

数を選んだら  $6+6=12$  である。